

道徳 - 2 (第2学年) 書く活動と意見交換により生徒が道徳的価値に関わる自分自身の考えを深めた事例  
【学習活動の概要】

1	主題名	自他の生命のかけがえのなさ	3 (1) 生命尊重
2	資料名	へその緒	文部省 中学校 道徳教育推進指導資料(指導の手引) 3
3	ねらいとする道徳的価値について	<p>生命は誕生の時からすでに自ら生きようとする力をもっている。自分の誕生は母体との支え合いによってなされている。誕生した時のことに焦点を当て、生命の尊さや力強さ、親とのつながり、受け継がれてきた命の尊さを理解させたい。特にこの授業では生命の連続性について自覚させ、受け継がれてきた命の尊さを深く自覚させ、精一杯輝いて生きていこうとする心情を育てたいと考えた。</p>	
4	資料	<p>主人公の明子は、友人の自分に対する陰口を聞いてしまったことで階段から落ちてけがをしてしまい、入院生活を送る。その後、けがは治ったものの心の傷が残り、入院生活が続く。入院が長引く中で、生きる希望を失い、死を考えるようになる。失意のどん底にある時、明子は父母から出生時の出来事を聞かされる。出産時、母子ともに生命の危険があったこと、母が自分の命よりも出産を優先したことを聞かされる。出産時の録音テープを聞かされ、へその緒を渡される。父母の温かい励ましによって、明子は生きることの意味や生命の大切さに深く思いを寄せ生きていこうと決心する。思春期特有の心的不安やストレスを抱えた中学生にとって、受け継がれてきた自他の生命のかけがえのなさや尊さが感じられる資料である。</p>	
5	本時の学習活動	<p>【ねらい】生命の尊さを理解し、受け継がれてきた自他の生命を尊重し、充実した人生を送ろうとする心情を育てる。</p>	
		主な学習活動	指導上の留意点
導入		<p>1. 赤ちゃんの写真を見て、感じたことをまとめる。 ・ワークシート1に記述</p>	<p>ワークシート1にまとめさせ、発表させる。</p>
展開		<p>2. 「へその緒」を読んで、話し合う。 明子の考えや思いに近い心情をもったことはあるか、それはどんな時か。 明子は、母が「へその緒」を見せたのはなぜだと思っただろうか。 テープや母の話から明子はどんなことを考えただろうか。 今日の授業を通して、自分の「いのち」について考えたことをまとめよう。 ・ワークシート2に記述 ・班での話し合い</p>	<p>教師が音読する。 挙手で発表させる。</p> <p>言語活動の充実(発問) ワークシート2にまとめさせ、班で意見交換させる。 ワークシート2にイラストを入れると、生徒が考えやすくなる。 自己との対話により、じっくり考えさせる。 他の生徒の意見をしっかりと聞き取らせる。</p>
終末		<p>3. 「心のノート」の「生命を考える」のページを読む。 掲示されたことわざを見る。</p>	<p>「命に換える宝は無し」を掲示する。</p>

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領・道徳の第3章の第2内容の「3 - (1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。」に関する事例である。本事例は、受け継がれてきたかけがえのない自他の生命を尊重する心情を養うことをねらいとして、ワークシートに書く活動を取り入れ、互いの考えを交流することで自分の「いのち」についてじっくりと考えられるように工夫したものである。

【言語活動の充実の工夫】

本実践では、発問に対して自己と対話し、じっくり考えさせるために、ワークシートに自分の考えを書く活動を位置付けた。また、その考えを発表するとともに、発表を通じて他の生徒の意見をじっくりと聞き学ぶことができるように少人数の班による話し合いを行った。

導入で赤ちゃんに対する思いをワークシートに書かせたので、2 - の発問について、出産の時の明子のエピソードを身近に考えることができた。(ワークシート1は、発問入り罫線なしA5サイズ。)

自分の「いのち」について考える発問でワークシート2を活用した。このことによりじっくりと自分と向き合い、自分と対話することによって、一人一人がしっかりと考えをまとめることができた。また、ワークシート2を基に、自分の考えを班の生徒にしっかりと伝えることができた。そして、他の生徒の意見をしっかりと聞き取り、そこから学び取ることもできた。このようにワークシート2に書いて考えさせることにより、中学生の自分としての意見をしっかりとまとめることができた。

「へその緒」ワークシート2 2年 組氏名
今日の授業を通して、自分の「いのち」について考えたことを書こう。

言語活動の実際（展開2 - の概要）

T 1 今日の授業を通して、自分の「いのち」について考えたことをワークシートに書いてください。

T 2 ワークシート2にまとめたことを、班になって意見交換して下さい。

- 班  
で  
の  
意  
見  
交  
換
- S 1 自分が大事に育てられてきたというのがあらためてよく分かりました。
  - S 2 人が死んだら悲しむ人は必ずいると思いました。今だけを見て絶望するのではなく、未来を信じていくことが大切です。
  - S 3 今、自分が生きているありがたさが感じられました。
  - S 4 自分を生んでくれたことに感謝する気持ちです。
  - S 5 生きていくことはとても難しい。いろいろな悩みもたくさんある。でも、そんな中で、もがき苦しみながら、一生懸命生きていくことにとても意味があり、得るものがたくさんあると思います。
  - S 6 明子に自分を重ねて考えてみて、自分の命の大切さを感じることができました。これからの未来を大切に生きていきたいです。
  - S 7 これから死にたいほどつらいことがあるかもしれないけれど、決して自ら死んでいい命ではないということをいつも思っていたいです。自分を思ってくれる人がいると思うと、ずっと生きていたいと思います。一生懸命生きていきたいです。
  - S 8 小学生の頃に、母に「へその緒」を見せてもらったことがあって、両親から自分が生まれてきた時の話をしてもらったことがあります。この話と重なるところも少しあって、自分が今ここにいるのは、あたりまえではないんだとあらためて実感することができました。
  - S 9 私も自分が生まれた時の物語を聞きたいと思いました。
  - S 10 命の重さを学びました。悩み事ができた時、つらくなってきた時、「生きているだけでいいんだ」と思える自分になればいいなと思いました。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ， （ 分類番号はP5表参照）